学校番号	1101

令和８年度　創作表現科

教科	創作表現	科目	舞台表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	使用なし						
副教材等	使用なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、発声、身体表現、エチュード、シアターゲーム、劇づくりのための練習など舞台における表現方法の基本を学び、劇の完成と発表を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
演じること、表現することを通して自己表現の方法を学ぶとともに、発声方法や演技の所作など演技の基本的な技巧を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】
舞台表現のお芝居・演劇を通じ、自分ではない他者になりきり、他者の行動や考えを理解し表現する。また演劇のなかでコミュニケーションを大切にし、チームでの創作・表現の面白さ・楽しさを知るとともに、舞台における自己表現を学ぶ。
【学びに向かう力、人間性等】
他者を尊重し、互いの良さを理解しながら主体的に一つの作品をつくりあげる協調性や態度を養うとともに、芸術や文化を理解しその普及の大切さを自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コミュニケーションの中から知識及び技能を身につける。演劇的な表現方法を通じ、表現の面白さ・楽しさなどを知るとともに自己表現や他者とのコミュニケーションの方法を身につける。	自己の創造性と表現力を高め、相手とのコミュニケーションができる能力を伸ばす。演劇的な表現方法を通じ思考力、判断力、表現力等を身につける。	コミュニケーションの中から自分の思いや情熱を伝え、また相手の思いや考え方も理解する。そこから自分を知り、相手を知り、違いを認め、共通理解を探る態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	発声、身体表現	・声の特性を伸ばす。 ・人前に立ち、自分の体を意識し、その表現力を養う。	a:基本的な演技技術を理解できているか。 b:自身の声の特性に合わせた発声ができているか。 基本的な身体表現が出来ているか。 c:自己評価や他者からのフィードバックを通じて、成長の機会を見つけ、自己向上を図っている。	観察	観察	観察
	エチュード	即興による芝居を行う。	b:役柄やシーンの背景や状況を想像し、演技を通してリアルな表現力が発揮できているか。 c:自己評価や他者からのフィードバックを通じて、成長の機会を見つけ、自己向上を図っている。		観察 発表評価	観察 発表評価
	シアターゲーム	俳優訓練に用いられるウォーミングアップを行う。	a:基本的な演技技術を理解できているか。 b:自身の想像力や創造力を生かして、物語やキャラクターを作りあげているか。 役割を演じながら、その演技を通じて自分の感情や考えを表現できているか。 c:グループ内で協力しようとし、アイデアを共有し合い、自分自身や他者の理解を深めようとしているか。	観察 発表評価	観察 発表評価	観察 発表評価
後期	劇づくり	台本読み 立ち稽古 通し稽古	a:演劇の要素や用語、技術に関する理解を深められているか。 b:脚本の構造や演出上の要素を理解し、効果的な演技ができているか。 c:自己評価や他者からのフィードバックを通じて、成長の機会を見つけ、自己向上を図っているか。	観察	観察	観察

	舞台発表	発表	b:脚本の構造や演出上の要素を理解し、効果的な演技ができているか。 c:発表の振り返りを行い、改善点や良かった点などを他者と共有し、自己向上を図っているか。		発表評価	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度